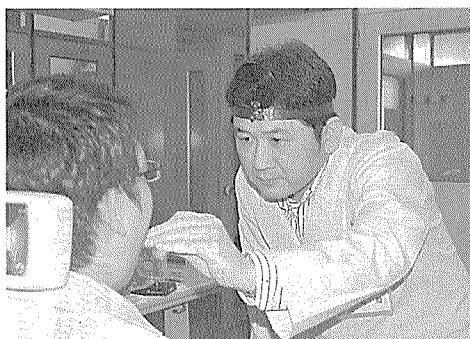


東手城医療モールに第2の診療所



耳鼻咽喉科

堀病院が進出決める

花粉症の治療などに注力

医療と健康の複合施設「東手城ヘルスケアモール」(福山市東手城町1-3-11)に、耳鼻咽喉科専門の堀病院(同市沖野上町3-4-13、堀興雄院長電話084-926-3387)が進出する。もりかわ内科に続く2番目の医療機関で、サテライクリニック(分院)として来年2月2日のオープンを目指す。

慢性中耳炎手術で4千例を超えるなど西日本有数の実績を持つ。県東部と岡山県西部では耳鼻咽喉科医が少なく、手術できる医療機関も限られるが、

反面、患者ニーズは高いため開業を決めたといふ。

「親子で安心して通院できるクリニック」がコンセプトで、50m²の広い待合室やキッズルーム、親子トイレ、感染症患者の待機室などを配置し、児童対応の聴力検査装置や手術可能な顕微鏡、超音波装置、電子内視鏡、CO₂レーザー治療器を導入。電子カルテなどの合理化で待ち時間の短縮を図る。診療は午前9時~正午、午後3時~6時。木曜日午後と日・祝日は休む。

モールで営業中の自然食レストラン穀灯やココフル薬局と共に花粉症やアレルギーを軽減させる料理メニュー、アロマテラピーを開発し、スポーツクラブのJOYFIT、もりかわ内科との提携企画も考えている。

責任者の宇崎毅副院長(39)は「写真」は「花粉症は増加傾向。2院態勢なら予防薬の投与や診察、治療がスムーズにできる。無床の診療所だが病院クラスの設備を整えた。アレルギー性鼻炎の治療や睡眠時無呼吸引症候群などの相談にも応じたい」と話す。1996年に北九州産業医大を卒業し、同大附属病院で助手を務めた後、九州、熊本の両労災病院で耳鼻咽喉科部長を歴任。今年10月、堀病院に副院長として赴任した。写真は診療風景。

福山大が1月22日防災シンポジウム

福山大学構造・材料開発研究センター(福山市学園町1番地三蔵、センター長・宮内克之客員教授)

午後1~5時、福山市丸之内・福山駅北口の社会連携研究推進センターで「地域防災シンポジウム」を開く。井上達雄客員教授を中心に取り組んだ「地域防災教育・研究プロジェクト」の成果を公表し、地域の防災力を高めるのが狙いで、土岐憲三・立命館大教授の基調講演

福山大特任教授、行政の防災、文化財保護担当者らによるパネルディスカッション「地域防災」のための高精度地図データをつくる」の仮題で特別報告。服部進吾教授がそれぞれ「中国地区の地震と防災」「森林管理のための防災」、「まちづくり」「ひとづくり」を目指すために日々活動しています。50年の歩みから新たな一步を創造します。

▽第4回人権・平和フォト市民作品展

額1375万ドル。北川社長が代表を務める。

環境印刷のリーディングカンパニー

人にやさしい文字、色彩。

誰もが使いやすく、見やすい
メディア・ユニバーサル・デザイン

株式会社 小山オフセット印刷所
〒720-0053 広島県福山市大黒町2-24
TEL.084-922-0280 FAX.084-924-2122

災をかんがえる」もある。

参加対象は一般市民、行政職員、コンサルタントや建設会社などの防災担当技術者。無料。

問い合わせは同センターの寺井さん(電話084-936-2112)へ。

社団法人 福山青年会議所は2010年、創立50周年を迎えます。

より良い福山の「まちづくり」「ひとづくり」を目指すために日々活動しています。

50年の歩みから新たな一步を創造します。

ReStart
一丸となり新たな歩みを踏み出す
50th Anniversary

社団法人 福山青年会議所
FUKUYAMA JUNIOR CHAMBER, INC.

福山市西町2丁目10-1 福山商工会議所7F TEL.084-922-5992 http://www.fukuyamajc.com/

★フランダースの光 ベルギーの美しい村を描いて♪1月10日(月・祝)まで開催中♪場=奥田元宋・小由女美術館(三次市)♪料=一般1200円♪問=電0824-65-0010

2010年(平成22年)12月20日 1360号 経済リポート